

## 令和5年度成果報告 建設環境課総括

### 1. 建設関係

道路関係として、国道19号は、令和5年5月7日～8日の大雨、また、一部区間雨量基準が緩和された6月2日～3日の台風2号の影響により中津川南木曾間の雨量規制による全面通行止め、補完道路となるべき中津川南木曾線でも土砂崩落により一時通行止めとなったため、中津川田立線が迂回車両で大渋滞となる等、生活、物流、観光等に多大な影響を及ぼし、災害対策や危険箇所対策をはじめ老朽施設の保全、交通安全施設の整備など課題も多く残された。

さらに、大雪の影響により令和6年2月5日～6日には、中津川市から塩尻市の間において全面通行止めによる除雪作業が行われたが、町内での普通車の移動には支障は出なかった。町内除雪作業については、昨年度、従来の区長判断から除雪業者判断による出勤へ大幅な見直しを行った。連絡体制及び除雪作業が円滑に進み、区長及び住民の皆さんからも大きな混乱がなくより迅速な除雪対応を行うことができた。また、融雪剤散布による早朝予防・凍結防止を行ったが、除雪作業にあたっては、高齢化、過疎化、人口減少による重機、オペレーターの確保が急務となっている。

今年度も自然災害に対する対応に追われた1年となり、5月7日～8日の大雨では町内24か所、6月2日～3日の台風2号による豪雨では町内62か所で被災し、妻籠地区では蘭川の増水により護岸が洗堀され、町道妻籠町中線の路肩が崩落した。7月1日～2日の豪雨では町内41か所が被災し、妻籠下り谷地区では令和3年度に被災し補助事業により復旧工事を実施した個所が再被災し、再度補助事業により復旧工事を進めています。

道路改良・河川整備事業については、今年度事業及び令和4年度繰越し事業も含めた町事業の推進、国・県関連事業の推進についても引き続き要望を行う。

また、リニア中央新幹線計画に伴う関連工事として、木曾川右岸道路との連携による発生土を活用し仮橋が架設され、右岸道路の工事用道路として利用された。また、町事業として、富貴畑地区における活用が計画され動き出した。

### 2. 住宅関係

町内では公営住宅66戸、特定公共賃貸住宅16戸、地域優良賃貸住宅6戸、町営単独住宅21戸、ユーアイ住宅46戸、また教員住宅30戸を管理している。昭和40年代の建築物もあり、老朽化に伴う維持補修や住宅環境の向上に対して入居者の要望が高まっており退去に合わせて改修を行っている。また、老朽化し空き家となっている住宅もあり除却について計画的に進めている。

また、住宅リフォーム補助については上乘せ分2件も含め計5件の実績となった。

個人木造住宅耐震改修補助事業については、事前の耐震診断については1件の実績となったが、耐震改修・補強工事については実績がない状況であり、県の上乗せ補助の活用など、補助金の増額についての検討が必要である。

### 3. 宅造関係

平成29年度造成し平成30年度より分譲を開始した天白住宅団地3区画について1区画の分譲について引き続き募集している。

町への定住を促進するための宅地造成事業に係るアンケートの結果より、購入希望者への追加調査及び、購入希望者2名への面談を実施した。

読書神戸地区及び田立元組地区での宅地造成事業計画に伴う用地購入を行い、読書神戸地区については移住体験・サテライトオフィス事業での活用へ変更し、田立元組地区については測量設計業務の発注を行った。

### 4. 環境衛生関係

ごみ処理関係では、可燃ごみが前年度より15.4tの減少、生ごみが前年度より3.8tの減少、不燃ごみが3.3tの減少となった。また、資源ごみの回収は12.1tの減少となった。

生ごみの減量化及び再資源化の推進を図るため、生ごみ処理機等の購入に対し補助金の交付を開始した。生ごみ処理機9基、生ごみ堆肥化容器8個の実績となった。

環境美化活動では、衛生自治会と連携し町内一斉清掃を2回実施した。またポイ捨て防止監視4名により週5日間のパトロールを実施した。

墓地の廃止が増えており、町営霊園では返還も行われることから今後の管理運営について管理組合との調整が課題となっている。

「南木曾町地球温暖化対策実行計画（事務事業編）の改訂を行い、地球温暖化対策について役場施設から取り組みを進め、住民への理解を得る中で町全体での取り組みにつなげていく。

簡易給水施設改修補助として、地区水道7組合へ補助金（事業費の90%）の交付を行い、町簡易水道の未普及地域への支援を今後も行っていく。

与川地区柿平・向田水道組合からの要望による統合工事を実施（令和4年度繰越し事業）した。今後も与川地区における統合に向けた協議を進めて行く必要がある。

## 5. 公営企業会計

地方公営企業法の適用により公営会計に移行し、複式簿記により会計処理を行った。また、4会計について経営戦略の改訂を行った。

### ○南木曾町簡易水道事業会計

- ・リニア中央新幹線工事に伴う水道水源対策として予備的措置についてJRとの協議により、措置に係る工事として（4年度発注、5年度完了）第1工区から第8工区の工事が完了した。また仮設浄水場施設工事として第10-1・第10-2工区の発注（R6への繰越事業）を行い、万が一のリニア工事影響による飲料水の確保に向けた事業を進めて行く。
- ・浄水場・配水池における建設改良工事等、施設維持管理工事として原水施設2機器、浄水施設5機器、配水施設4機器の修繕工事等を実施し、健全な施設管理業務に努めた。
- ・毎月の定期項目検査、年1回の全項目・原水全項目検査、クリプト検査などを行い、適正な水質管理に努めた。また、有機フッ素化合物（PFOS/PFOA）分析については令和6年度より年1回実施する。

### ○南木曾町特定環境保全公共下水道事業会計

- ・新規公共マスの設置はなかった。
- ・民間業者等への委託により、施設管理・水質管理など、適正な管理に努めた。
- ・妻籠クリーンセンター調整槽・逆洗排水槽清掃を実施した。
- ・マンホールポンプ場ポンプ交換工事を実施した。
- ・マンホールカード発行への参画により1,723枚の配布を行った。

### ○南木曾町農業集落排水事業会計

- ・新規接続はなかった。
- ・民間業者等への委託により、適正な施設管理に努めた。
- ・蘭浄化センター誘導灯取替工事、流量調整槽水位計及び変換機交換工事、元町マンホールポンプ場通報装置改修工事を実施した。
- ・更新工事は実施しなかった。

### ○南木曾町浄化槽市町村整備推進事業会計

- ・浄化槽市町村整備推進事業により浄化槽6基を整備した。（町整備分563基）
- ・今年度、寄付による町管理型への移管は4基。（町への移管分270基）
- ・民間業者への委託により保守点検を3ヶ月に1回実施し、浄化槽の状況により汲み取り・清掃を行い適正な管理に努めた。

## 【評価】

- ・木曾川右岸道路事業として、県代行による新高瀬橋の架設、川向地区から田立地区県境部のルート確定に向けて右岸道路づくり委員会による意見交換会を6回開催し、今後の進め方について検討を進め、3ルート帯案が選定された。今後は、各案の比較評価を進め、住民からの意見集約によるルート帯案の選定が必要である。また、関係機関への要望を引き続き行い早期完成への働きかけも重要である。
- ・国道19号の雨量規制区間（吾妻橋から岐阜県坂下までの6.5km）については、長野県側が緩和されたため、岐阜県側の緩和及び、抜本的な解消に向けた道路改良調査など、関係機関への要望の継続が必要である。
- ・国土強靱化事業は5箇年（令和3年度～令和7年度）緊急対策として、町道天白川向線防災工事について詳細設計により、地域からの要望への解消に向けた事業に着手できた。
- ・リニア中央新幹線事業に伴う尾越工区のトンネル掘削工事の開始により、右岸道路事業との連携による発生土活用が進められ、今後、広瀬工区の掘削開始も予定されている中、引き続き地域と連携し住民生活への支障が出ないように要望を行っていく。水道水源の予備的措置について関係課とともにJRとの協議により、第一段階として妻籠配水池へ大山・蘭簡易水道からの給水工事が完了したが、影響が懸念される簡易水道の2水源の水量確保など、引き続き水枯れ等による住民への影響を解消する必要があるためJRとの協議を進めていく。
- ・町営住宅の新規建設は行えなかったが、单身向け住宅を中心としたユアアイ住宅建設の検討も含め、既存住宅を活用し、町外からの町内就業者への対応を引き続き行う。
- ・宅地造成事業は、天白住宅団地1区画の募集を引き続き行うとともに、アンケート結果による購入希望者のニーズに合った小規模宅地造成事業の計画を進める中で購入希望者2名との面談も実施し、田立元組への造成事業に着手することができ、令和6年度において工事を進め、若者の定住促進を図る。今後も他地域における宅地造成事業等の検討も行う必要もある。
- ・ごみの減量化及び再資源化による生ごみ処理機等購入補助金の交付開始により、具体的な目標を掲げ、今後も地球温暖化対策について進めていく必要がある。
- ・小規模水道について一部施設統合が実施できたが、今後も各水道組合の現状をよく把握しながら将来の施設維持管理の在り方について協議・検討する必要がある。
- ・公営企業会計4会計（簡易水道・特環下水道・農業集落排水事業・浄化槽市町村整備事業）について、改訂した経営戦略により適正な会計管理に努めながら財務・事業内容の健全化を常に意識した事業運営、また料金改定の検討も行う必要がある。

## 8 建設環境課所管

### 1. 建設関係

#### (1) 道路関係

##### ①町道

町道については、実施計画に基づき道路改良等の事業を実施したほか、道路メンテナンス事業補助を活用し橋梁点検・補修を実施した。

道路維持補修については、各地域からの要望を中心に緊急性の高いものから順次実施し、可能な限り対応している状況である。

令和3～7年度の5か年間の地域再生計画「歴史とひのきの薫る里づくり計画」（道整備交付金）に基づき、町道川向椰野線：高瀬橋架替（県代行事業）を中心とした事業を推進した。

道路維持補修事業	18,982千円	（台帳整備含む）
道路舗装事業	10,710千円	
道路改良事業	53,532千円	
除雪対策事業	23,710千円	
県営工事付帯事業	3,961千円	
橋梁維持補修事業	45,000千円	
河川整備事業	4,099千円	
5事業費計	159,993千円	（明細別紙参照）
5災害復旧費	38,254千円	（明細別紙参照）
4年度繰越事業	89,509千円	（明細別紙参照）

#### 現年度事業

- ・道路維持補修工事 42箇所を行った。
- ・道路新設改良では、妻籠街中線第4工区L=82m（栄光板金前）を実施した。  
※3工区については、蘭川護岸災害復旧工事（長野県施工）により令和6年度への事故繰越となった。
- ・舗装工事では、蘭広瀬線L=315m（広瀬グラウンド前）の舗装補修工事を実施した。
- ・橋梁維持修繕工事では、田立駅跨線橋の耐震診断補修設計、田立駅跨線橋の定期点検業務あみだ橋他4橋の補修設計及び歴史の道27の補修工事を実施した。
- ・橋梁長寿命化計画の策定を実施した。
- ・河川整備では与の洞（妻籠）の河畔林整備を行った。
- ・除雪対策事業の除雪費用は昨年比70%へと減額となった。融雪剤購入も680袋から600袋となり、融雪剤散布による凍結防止など円滑な住民対応ができた。
- ・5月7日から8日の大雨では10箇所（道路9箇所、河川1箇所）の被災を受けた。国道19号吾妻橋から中津川山口間が雨量規制（150mm）により通行止め（5/8…4：50～8：00）
- ・6月2日から3日の台風2号の影響により23箇所（道路20箇所、河川3箇所）の被災を受けた。和合妻籠線妻籠線路肩崩落により、健康マラソン直前にコースが被災しルートが変更となった。国道19号（雨量規制 ○中津川市区間 150mm規制 6/2 14：00～6/3 5：00、○南木曾区間 210mm規制 6/3 2：10～5：00）
- ・7月1日から2日の豪雨では27箇所（道路23箇所、河川4箇所）の被災を受けた。蘭川増水による護岸妻籠町中線で路肩が崩落し一時期全面通行止めとなった。

## 繰越事業

- ・天白川向線防災工事（桃介橋先）の測量設計を実施した。
- ・荒神線の舗装打ち替え工事を実施した。
- ・交通安全事業を神戸団地下線で実施した。
- ・蘭線道路改良工事（国道 256 号交差点）に関する補償を実施した。
- ・与川線道路改良工事の詳細設計を実施した。
- ・町道大原線道路改良工事の測量設計と工事を実施した。
- ・田立駅跨線橋の耐震診断、補修設計を実施した。
- ・井戸沢橋（大妻籠）の補修工事を実施した。

## ②国 道

### 【国道 19 号】

令和 5 年 5 月 31 日より、事前通行規制の雨量基準（吾妻橋交差点から弥栄橋交差点 連続雨量 150 mm）が一部緩和された

○吾妻橋交差点から田立入口交差点 連続雨量 210 mm

### 【一般国道 256 号】

道路改良（漆畑拡幅）等が実施された。

## ③県 道

### 【主要地方道 中津川南木曾線（馬籠峠～下り谷拡幅）】

道路築造工、道路拡幅工事が実施・発注された。

### 【主要地方道 中津川田立線】

中津川市側で岐阜県発注の拡幅工事が実施された。

田立大橋（ベント杭基礎撤去、仮橋撤去、高欄設置・橋梁塗装）が実施された。

### 【一般県道 上松南木曾線（読書ダム～戸場）】

十二兼地区仮橋上部工（騒音・振動調査）が発注、実施された。

### 【県代行 木曾川右岸道路（町道川向椰野線）】

水位計移設が実施された。高瀬橋除石、（仮称）新高瀬橋下部工事が発注された

## (2) 砂防・河川・災害関係

### ①町単河川改修事業

#### 【準用河川改修】

県単河畔林整備事業を与の洞(妻籠地区)の支障木伐採を実施した。河川内と民地を一体的に整備し、倒木による栓塞の危険箇所を解消した。

大洞沢(川向地区)及び牧原沢(上在郷地区)の支障木伐採を実施した。

5 年度事業費 4,099 千円 (明細別紙参照)

### ②直轄砂防事業

#### 【砂防事業】……………本体工事

事業概要 和合蛇抜沢沈砂地工、桂川第 1 砂防堰堤取付道路工

#### 【砂防調査】……………地質調査・測量・詳細設計ほか

事業概要 地蔵沢第 1 ・与川第 1 ・神戸第 1

### ③県砂防・河川事業

【緊急浚渫事業】……木曾川の除石・支障木伐採が実施された。(南木曾中学校横)

【木曾川治水対策】…未策定となっていた木曾川河川整備計画が策定により、既存ダムを活用した事前放流や流域治水への取り組みなどについて、木曾郡町村会を通じて長野県建設部、国交省水管理保全局、中部地方整備局、木曾川上流事務所等へ要望を繰り返し実施した。沼田地区における機能向上工事(護岸補強)が実施された。

### (3) 負担金関係等

期成同盟会、団体に対して負担金を支出し、事業促進のため要望活動を行った。

(明細別紙参照)

#### 【国道 256 号改良促進期成同盟会】

飯田市・阿智村・南木曾町の 3 市町村で構成し、要望活動を行った。(事務局：南木曾町)

- ・令和 5 年 10 月 2～3 日 関東地方整備局、衆参議員、国土交通省、財務省へ要望活動
- ・令和 5 年 12 月 19 日 長野県へ要望活動

#### 【中津川南木曾県際道路改良促進協議会】

中津川市・南木曾町 2 市町で構成し、要望活動等を行った。(事務局：南木曾町)

- ・令和 5 年 9 月 6 日 長野県へ要望活動
- ・令和 5 年 9 月 25 日 国道 19 号整備促進に関する要望活動  
(飯田国道事務所・多治見砂防国道事務所・中部地方整備局)
- ・令和 5 年 11 月 15 日 国道 19 号整備促進に関する要望活動  
(国土交通省・財務省・衆参議員)
- ・令和 5 年 12 月 26 日 岐阜県へ要望活動

#### 【木曾南部木曾川右岸道路整備促進期成同盟会】

上松町・南木曾町・大桑村の 3 町村で構成し、要望活動等を行った。(事務局：南木曾町)

- ・令和 5 年 9 月 6 日 長野県へ要望活動
- ・令和 5 年 10 月 2 日 関東地方整備局へ要望活動
- ・令和 5 年 10 月 3 日 国土交通省、財務省、地元国会議員へ要望活動

#### 【木曾南部直轄砂防推進協議会】

上松町・南木曾町・大桑村の 3 町村で構成し、要望活動等を行った。(事務局：上松町)

- ・令和 5 年 10 月 2 日 多治見砂防国道事務所、中部地方整備局へ要望活動
- ・令和 5 年 11 月 16 日・17 日 国土交通省、財務省、地元国会議員、全国治水砂防協会、砂防地滑り技術センターへ要望活動

#### 【主要地方道飯田南木曾線改良促進期成同盟会】

飯田市、南木曾町で同盟会を結成し、要望活動等を行った。(事務局：飯田市)

- ・令和 5 年 12 月 19 日 長野県へ要望活動

【木曾地域国道 19 号整備促進期成同盟会】

郡内 6 町村と塩尻市で構成し、改良促進を中心に要望活動を行った。(事務局：木曾広域連合)

(4) 町道台帳整備

	6年3月末	5年3月末	増減
道路実延長 ( m )	164,840	164,591	249
改良済延長 ( m )	99,747	99,439	308
舗装済延長 ( m )	119,331	119,082	249
自動車通行不能道延長 ( m )	39,273	39,332	△59
橋 梁 数 (箇所)	207	210	△3
うち永久橋 (箇所)	164	165	△1

(5) 諸申請手続き

① 河川法申請関係	5 件
② 町道自営工事申請	3 件
③ 町道使用申請	76 件
④ 砂防法申請関係	4 件
⑤ 急傾斜地法申請関係	1 件
⑥ 国道・県道通行制限通知	50 件

(6) リニア関連工事

○尾越工区工事に伴う十二兼地区への土砂運搬開始

○広瀬工区における発生土の活用として、富貴畑地区における町道改良及び水道施設用地造成に向けた計画開始

令和5年度建設関係主要事業

道路維持補修事業

単位：千円

事業名	実施箇所	事業内容	事業費	左の財源				備考
				国庫支出金	県支出金	地方債	その他	
町道補修	町内一円	町道補修42箇所	9,442				9,442	
町道補修(地元施工含む)	町内一円	原材料(舗装補修材等)	440				440	
環境整備委託	富貴畑線	町道整備	99				99	
土木小規模補修	町内一円	ポットホール	5,852				5,852	
道路愛護作業補助金	町内一円 50地区	道路愛護作業	1,085				1,085	
その他		消耗品費 土地賃借料	137				137	消耗品 48 賃借料 89
合計			17,007				17,007	

道路橋梁一般事業

単位：千円

事業名	実施箇所	事業内容	事業費	左の財源				備考
				国庫支出金	県支出金	地方債	内訳 その他 一般財源	
道路台帳整備事業	町内一円	道路台帳補正、	1,925				1,925	
看板購入費		通行注意看板	48				48	
合計			1,975				1,975	

道路舗装事業

単位：千円

事業名	実施箇所	事業内容	事業費	左の財源				備考
				国庫支出金	県支出金	地方債	内訳 その他 一般財源	
蘭広瀬線舗装修繕	広瀬	工事L=31.5m、監理	10,710			10,600	110	辺地
合計			10,710			10,600	110	

補助道路施設改良事業

単位：千円

事業名	実施箇所	事業内容	事業費	左の財源内訳				備考	
				国庫支出金	県支出金	地方債	その他		一般財源
妻籠街中線美化(4工区)	妻籠	工事L=82m 監理	21,335	10,000		11,000		335	過疎 街環
蘭線道路改良	蘭	工事L=114m	9,590	5,078		4,500		12	社資 過疎
		県事業地元負担金	3,600			3,600			過疎
与川線道路改良	与川	工事L=234m	18,700	9,350		9,300		50	道交 辺地 前払い、
		用地補償	307					307	
合計			53,532	24,428		28,400		704	

県営付帯事業

単位：千円

事業名	実施箇所	事業内容	事業費	左の財源内訳				備考	
				国庫支出金	県支出金	地方債	その他		一般財源
高瀬橋仮設工事	三留野	用地交渉	17					17	
橋詰公園、右岸道路整備	三留野	草刈 整備	132					132	
		支障木伐採、倒木除去等 4箇所	3,812					3,812	
維持修繕工事	一円								
合計			3,961					3,961	

## 除雪対策事業

単位：千円

事業名	実施箇所	事業内容	事業費	左の財源内訳				備考	
				国庫支出金	県支出金	地方債	その他		一般財源
融雪剤・砂配布業務	町内一円	各地区指定箇所へ配布	913					913	
凍結防止剤等購入代	町内一円 200箇所	塩化カルシウム 25kg 600袋	1,136					1,136	
融雪剤散布業務	町内		1,808					1,808	
町道雪害支障木伐採など	町内一円 6箇所	支障木伐採	2,651					2,651	
町道除雪業務重機使用料 (年間管理料)	町内一円 159路線	町内業者10社他委託 重機使用料	17,484	2,012				15,472	社会資本整備 備交付金
合計			23,992	2,012				21,980	

※路線数は、委託契約業者ごとの契約路線数の合計数。(1路線で雪寒路線、通常路線ある場合は2路線として計上、同一路線を複数事業者契約の場合も2路線で計上。)

## 河川整備事業

単位：千円

事業名	実施箇所	事業内容	事業費	左の財源内訳				備考	
				国庫支出金	県支出金	地方債	その他		一般財源
与の洞河畔林整備工事	妻籠	河畔林伐採、監理	2,121		1,782			339	県単河畔林 整備補助金
維持修繕	一円	大洞沢、与の洞 牧原沢 整備	1,978					1,978	
合計			4,099		1,782			2,317	

橋梁維持経費

単位：千円

事業名	実施箇所	事業内容	事業費	左の財源				内訳		備考
				国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源		
橋梁点検業務	田立駅跨線橋	点検 監理	5,447	2,910		2,000		537	道路メンテ	
	長寿命化計画策定	計画策定 監理	8,446	5,016		3,100		330	過疎ソフト	
橋梁補修事業	田立駅跨線橋	耐震診断 補修設計	2,803	1,757		1,000		46		
	あみだ橋他4橋	補修設計 監理	25,906	16,090		11,000		114	道路メンテ	
	歴史の道27号橋	工事	1,298		過疎ハード					
	わらひ沢橋	測量	1,100					1,100		
合計			45,000	25,773		17,100		2,127		

道路災害復旧事業（現年災害 町単）

単位：千円

事業名	実施箇所	事業内容	事業費	左の財源				備考
				国庫支出金	県支出金	地方債	その他	
災害消耗品		パイロン、ポール等	187				187	
道路災害復旧事業（6月2日～6月3日 豪雨）								
道路災害復旧修繕工事	三留野4箇所 吾妻10箇所 田立6箇所	流出土砂撤去、 法面修繕 路肩修繕 倒木処理 排水復旧	5,517				5,517	
道路災害復旧事業（7月1日～7月2日 豪雨）								
道路災害復旧修繕工事	三留野5箇所 吾妻15箇所 田立3箇所	流出土砂撤去、 法面修繕 路肩修繕 倒木処理 排水復旧	8,928				8,928	
和合妻籠線災害復旧	妻籠	工事 監理	4,846				4,846	
大妻籠線災害復旧	妻籠	工事	1,298		1,200		98	
合計			20,776		1,200		19,576	

道路災害復旧事業（現年災害 国庫）

単位：千円

事業名	実施箇所	事業内容	事業費	左の財源				内訳		備考
				国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源		
中山道道路災害復旧	妻籠	地質調査設計	13,112	3,187		9,900			25	補助復旧事業債
		価格調査	369						369	
		広域連合負担金	1,000		1,000					単独復旧事業債
合計			14,481	3,187		10,900		394		

河川災害復旧事業（現年災害 町単）

単位：千円

事業名	実施箇所	事業内容	事業費	左の財源				内訳		備考
				国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源		
河川災害復旧事業（6月2日～6月3日 豪雨）										
河川災害復旧修繕工事	妻籠2箇所 蘭1箇所	地蔵沢護岸復旧 渡島蛇拔沢堆積土砂 撤去 木戸沢護岸復旧	1,677						1,677	
河川災害復旧事業（7月1日～7月2日 豪雨）										
河川災害復旧修繕工事	三留野1箇所 妻籠1箇所 蘭2箇所	田代沢護岸復旧 井戸沢護岸復旧 梨子沢小破修繕 他	1,320						1,320	
合計			2,997						2,997	

道路維持補修事業（令和4年度からの繰越分）

単位：千円

事業名	実施箇所	事業内容	事業費	左の財源				内訳	備考
				国庫支出金	県支出金	地方債	その他		
天白川向線防災工事	三留野	測量設計 監理	9,684	5,245		3,900		539	社資 強靱化債
合計			9,684	5,245		3,900		539	

道路舗装事業（令和4年度からの繰越分）

単位：千円

事業名	実施箇所	事業内容	事業費	左の財源				内訳	備考
				国庫支出金	県支出金	地方債	その他		
荒神線舗装事業	田立	工事L=280m 監理	10,138	5,493		4,100		545	社資 公共事業等 災
合計			10,138	5,493		4,100		545	

道路新設改良事業（令和4年度からの繰越分）

単位：千円

事業名	実施箇所	事業内容	事業費	左の財源				内訳	備考
				国庫支出金	県支出金	地方債	その他		
蘭線道路改良事業	蘭	用地補償	1,277			2900		6	過疎
		立木補償	1,629						
		物件補償	1,205		1,200		5		
神戸団地下線安全対策	三留野	工事	833			800		33	過疎
合計			4,944			4,900		44	

補助道路施設改良（令和4年度からの繰越分）

単位：千円

事業名	実施箇所	事業内容	事業費	左の財源				内訳	備考
				国庫支出金	県支出金	地方債	その他		
与川線道路改良工事	三留野	詳細設計 監理	17,578	5,773		11,800		5	道交 過疎
		測量設計 監理	7,407	3,089	4,300		18		
大原線道路改良事業	三留野	工事L=87m 監理	14,526	7,500	7,000		26	道交 過疎	
		用地補償	55				55		
		立木補償	418				418		
合計			39,984	16,362	23,100		522		

橋梁維持経費（令和4年度からの繰越分）

単位：千円

事業名	実施箇所	事業内容	事業費	左の財源				内訳	備考
				国庫支出金	県支出金	地方債	その他		
田立駅跨線橋修繕事業	田立	耐震診断 補修設計 監理	22,159	13,468		8,600		91	道路メンテ 過疎
井戸沢橋補修事業	妻籠	工事 監理	2,600	1,254		1,300		46	道路メンテ 過疎
合計			24,759	14,722	9,900		137		

令和5年度負担金関係

同盟会及び協会事業負担金等（土木総務費）

単位：円

負担金名称	金額	事業主体
256号改良促進 期成同盟会負担金	200,000	同盟会（事務局 南木曾町）
木曾南部直轄砂防 推進協議会負担金	188,300	推進協議会（事務局 上松町）
県河川協会負担金	35,000	河川協会（事務局 県河川課）
全国治水砂防協会負担金	20,000	全国治水砂防協会・長野県治水砂防協会 （事務局 県砂防課）
県道路整備期成 同盟会負担金	173,500	同盟会（事務局 県道路管理課）
中津川南木曾県際道路 改良促進協議会負担金	0	同盟会（事務局 南木曾町）
飯田南木曾線改良促進 期成同盟会負担金	20,000	同盟会（事務局 飯田市）
中津川田立線改良 促進期成同盟会補助金	40,000	地元同盟会
長野県地区用地対策 連絡協議会負担金	500	県建設政策課
木曾南部木曾川右岸道路 整備促進期成同盟会	50,000	同盟会（事務局 南木曾町）
木曾地域交通網対策協議会	0	木曾広域連合
長野県南部国道連絡協議会	0	南信州広域連合
合計	727,300	

## 2. 住宅関係

### (1) 町営住宅関係

#### ①町営住宅管理状況

\* 住宅及び入居者の状況

R6.3.31 現在

	管理戸数	年度当初入居戸数	年度中入居戸数	年度中退去戸数	年度末入居戸数	年度末空家戸数	除却予定空家戸数
公営住宅	66	53	5	4	54	4	8
特定公共賃貸住宅	16	14	3	3	14	2	0
地域優良賃貸住宅	6	5	1	0	6	0	0
町営単独住宅	21	19	2	1	20	0	1
ユーアイ住宅	46	46	6	7	45	1	0
合計	155	137	17	15	139	7	9

#### ◎教育委員会管理

教職員住宅	30	22	4	5	21	9	0
-------	----	----	---	---	----	---	---

\* 家賃徴収の状況

		家賃調定額	家賃徴収済額	不納欠損額	未徴収額	家賃徴収率
使用料	(公営住宅・特賃住宅・地優賃住宅)	19,469,200円	19,404,600円	0円	64,600円	99.67%
	(全住宅駐車場)	418,500円	418,500円	0円	0円	100.00%
財産収入	(教員住宅)	4,380,600円	4,380,600円	0円	0円	100.00%
	(ユーアイ住宅)	20,585,000円	20,495,200円	0円	89,800円	99.56%
	(町営単独住宅)	4,950,200円	4,749,600円	0円	200,600円	95.95%
過年度収入		1,681,600円	386,038円	0円	1,295,562円	22.96%
計		51,485,100円	49,834,538円	0円	1,650,562円	96.79%

#### ※家賃徴収

滞納対策については、家賃だけでなく町税等の滞納も絡んでいるケースが多く他係と連携して取り組んでいる。滞納者とは積極的に折衝し実情の把握に努め、計画的に支払えるように対策を進めている。

#### ※住宅維持補修

令和5年度末において、環境住宅係で管理している住宅は155戸となっている。その内約80%が築20年を経過しており、老朽化に伴う維持補修や住宅環境の向上に対して入居者の要望が高まっている。これらに対応するため軽微な補修も含め47件5,440千円の維持補修を実施した。

教育委員会で管理している教職員住宅については11件1,998千円の維持補修を実施した。

#### ②住宅改善の状況

##### ・町営住宅改善事業

ユーアイ住宅神戸ハイツ改修工事

ユーアイ住宅神戸ハイツ2棟4戸 (別紙詳細)

特定公共賃貸住宅天白団地屋根塗装工事

特定公共賃貸住宅天白団地1棟6戸 (別紙詳細)

### ③住宅除却の状況

#### ・町営住宅除却工事

町営住宅中折団地78号除却工事

町営住宅中折団地1棟1戸

(別紙詳細)

## (2) 一般住宅関係

### ①住宅資金貸付業務

平成23年度から南木曾町への定住の推進を図ることを目的として、南木曾町定住促進住宅資金の貸付を始め、4件分にあたる2,000千円を金融機関に預託した。本年度は貸付の実績がなかった。

### ②諸申請手続き

・建築工事関係	建築工事届（床面積10㎡以上）	3件
	建築確認申請書（建築基準法第6条第1項に該当する建物）	0件
	建築物除却届（床面積10㎡以上）	18件

### ③木造住宅耐震改修補助事業

昭和56年5月31日以前に建築工事を着工した、木造在来工法の一戸建て住宅が対象

・耐震診断（国・県・町で診断料を負担）	1件
・耐震改修・補強工事（工事費の1/2以内で上限100万円を補助）	0件

### ④住宅リフォーム補助事業

住宅関連産業を中心とした町内経済の活性化を図り町民が快適な生活を営むことができるよう、持ち家住宅のリフォーム工事に対して補助を行った。

※30万円以上の工事に対して、補助対象工事費の10%、限度額20万円。

補助金の30%相当額を南木曾町商品券で交付

・令和5年度分	申請件数	5件
	総事業費	15,323千円
	補助対象工事費	9,691千円
	補助金額	1,069千円
	内商品券額	391千円

別紙 (事業実績)

(令和5年度実施事業)

(単位：千円)

事業名	実施箇所	事業量	事業内容	事業費	左の財源内訳					備考
					国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
町営住宅改善事業 (UI住宅)	読書 UI住宅 神戸ハイツ	2棟4戸	外壁改修工事 設計監理業務	5,984					5,984	
" (特定公共賃貸住宅)	読書 特貸住宅 天白団地	1棟6戸	屋根塗装工事 監理業務	2,046					2,046	
町営住宅除却工事	吾妻 町営住宅 中折団地	1棟1戸	除却工事	5,401					5,401	

### 3. 環境関係

#### (1) ごみ処理関係

##### ①可燃ごみ

令和5年度の可燃ごみ（町収集分）排出量は411.4tで、前年度より15.4tの減少となった。

木曽クリーンセンターにおける南木曽町のごみ排出量（家庭系・事業系ごみ総量）は539.5tで、昨年度より18.0tの減少となった。木曽クリーンセンターでは可燃ごみ排出量（家庭系・事業系ごみの総量）の目標値を定めており、南木曽町においては令和5年度の実績で68.5tの減量が必要となっている。

木曽クリーンセンターと連携して、ごみの減量と分別意識の向上に努めていきたい。

##### 【可燃ごみ排出量の推移】

（単位 ごみ量：t）

	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
町内収集分	488.0	480.7	426.9	426.8	411.4
ごみ排出量（家庭系+事業系）※	613.9	584.6	563.0	557.5	539.5
ごみ排出量対前年度増減	47.1	△29.3	△21.6	△5.5	△18.0
令和5年度排出目標値	471（家庭系+事業系）				
令和5年度排出目標値達成率	77%	81%	84%	84%	87%

※木曽クリーンセンターにおける家庭系・事業系ごみの総量（町収集分+持ち込み分）

##### ②生ごみ

令和5年度が生ごみ排出量は99.9tで、前年度より3.8tの減少となった。

木曽クリーンセンターと連携して、ごみの減量と分別意識の向上に努めていきたい。

##### 【生ごみ排出量の推移】

（単位：t）

種 類	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
生ごみ	104.1	100.0	101.8	103.7	99.9

##### ③不燃ごみ

令和5年度の不燃ごみ排出量は35.5tで、前年度より3.3tの減少となった。

木曽クリーンセンターと連携して、ごみの減量と分別意識の向上に努めていきたい。

##### 【不燃ごみ（金物類・ガラス類）収集量の推移】

（単位：t）

種 類	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
金物類	20.2	22.3	22.0	16.9	15.0
ガラス類	22.9	28.0	19.0	21.9	20.5
合 計	43.1	50.3	41.0	38.8	35.5

##### ④資源ごみ

資源びん、ペットボトル、発泡スチロール、プラスチック製容器包装、蛍光灯、ダンボール、雑誌・雑がみ、古着類を行政回収で、紙類、牛乳パック、アルミ缶、ビール瓶をひだまり工房、南木曽小・中学校PTAの集団回収で実施している。

集団回収の実績に応じて3団体に「南木曽町資源集団回収事業奨励金」を交付した。

○行政回収

【資源ごみ排出量の推移】

(単位：t)

種 類	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度
資 源 び ん	27.0	25.2	23.5	22.9	24.1
ペ ッ ト ボ ト ル	11.0	10.4	10.4	11.1	11.0
発 泡 ス チ ロ ー ル	2.7	2.5	2.3	2.2	2.1
プ ラ ス チ ッ ク 製 容 器 包 装	30.5	26.3	29.1	33.5	30.1
蛍 光 管	0.8	0.8	0.7	0.8	0.6
ダ ン ボ ー ル	83.6	82.3	71.2	67.7	63.1
雑 誌 ・ 雑 が み	28.1	26.4	25.9	29.0	25.0
古 着 ・ 古 布	7.5	10.1	9.2	9.0	8.1
合 計	191.2	184.0	172.3	176.2	164.1

○集団回収

実施団体：ひだまり工房・南木曾小学校PTA・南木曾中学校PTA

【集団回収量と奨励金交付額】

(単位 回収量：kg・本、交付額：円)

種 類	令和3年度		令和4年度		令和5年度		
	回収量	奨励金 交付額	回収量	奨励金 交付額	回収量	奨励金 交付額	
紙 類	新 聞	58,900	176,700	51,260	153,780	45,810	137,430
	雑 誌 類	48,460	193,840	56,160	224,640	38,530	154,120
	ダ ン ボ ー ル	16,080	48,240	13,780	41,340	12,940	38,820
牛乳パック	1,280	3,840	1,180	3,540	1,140	3,420	
アルミ缶	4,380	13,140	4,395	13,185	4,630	13,890	
ビール瓶(本)	456	90	486	96	585	116	
合 計		435,850		436,581		347,796	

⑤南木曾町資源ごみストックヤードについて

資源ごみ（資源びん、ペットボトル、発泡スチロール、蛍光管、ダンボール、雑誌・雑がみ）の受け入れを、毎週水・土曜日の午前8時30分から12時まで業務委託により実施している。

平成26年度から布団の受入れ（有料（200円/10kg R05.10.1料金改定））を毎週水・土曜日の午前8時30分から12時まで業務委託により実施している。

・令和5年度実績（布団） 191件 7,680kg（前年度比 △7件 △690kg）

⑥南木曾町生ごみ処理機等購入補助金について

一般家庭から排出される生ごみの減量化及び再資源化の推進を図るため、生ごみ処理機等を購入して生ごみの自己処理を実施する町民に対して、補助金を交付した。

・令和5年度実績 生ごみ処理機：9基、生ごみ堆肥化容器：8個

(2) 環境美化関係

南木曾町美しいまちづくり条例の規定に基づく環境美化の日に、南木曾町衛生自治会が中心となり町内一斉清掃を実施した。

①南木曾町衛生自治会

【令和5年度活動状況】

活 動	回数等	場 所	内 容
総会	—	—	7月4日 書面決議 承認49名
役員会	3回	役場	4月7日、9月8日、3月15日
町内一斉清掃	2回	町内	4月23日(可燃ごみ:160kg、不燃ごみ:110kg) 9月24日(可燃ごみ:110kg、不燃ごみ:60kg)
委員研修	1回	木曾町	10月13日 木曾クリーンセンター(9名出席)
町の事業への協力	随時	町内	環境衛生事業への協力、容器包装廃棄物(資源びん、ペットボトル、発泡スチロール等)の分別収集の推進協力等

②ポイ捨て防止監視パトロール事業

「ポイ捨て防止監視パトロール事業」として、4名へ委託し、国道19号・256号のパーキングを中心とした不法投棄防止啓発活動とごみ拾いを実施した。

依然として不法投棄ごみは多く、最近では汚物の投棄も目立っている。関係機関等への協力を求めながら不法投棄防止の啓発を図る必要がある。

【ポイ捨て監視パトロールごみ回収状況】

回 収 品 目	令和3年度	令和4年度	令和5年度
缶 類	3,813 個	4,093 個	3,283 個
び ん 類	151 本	179 本	142 本
ペットボトル	5,341 本	5,454 本	4,644 本
可燃ごみ ※	123 袋	120 袋	100 袋

※可燃ごみは町指定の可燃ごみ指定袋(50L)での回収数量

【ポイ捨て監視パトロール出動日数・延人数・延時間】

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
出動日数	222日	217日	226日
延 人 数	448人	434人	455人
延 時 間	1,344時間	1,317時間	1,330時間

③不法投棄防止関係

町が加入する木曾地域廃棄物不法投棄防止対策協議会による、道の駅「大桑」でのポイ捨て防止啓発活動に毎年参加しているが、コロナウイルス感染症予防のため、中止となった。

また、木曾地域廃棄物不法投棄防止対策協議会との合同で、廃棄物不法投棄防止パトロールを実施しているが、コロナウイルス感染症予防のため、中止となった。

(3) し尿・火葬関係

①し尿関係

【し尿排出量・処理量等】

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
汲 取 り 量	639K L	608K L	570K L
汲 取 り 手 数 料	7,610千円	7,324千円	6,814千円
浄化槽汚泥量	3,825K L	3,669K L	3,785K L
浄化槽清掃手数料	41,762千円	41,537千円	42,639千円

②火葬関係（緑聖苑）

【火葬場使用件数等】

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
火葬場使用件数	41件	43件	33件
火葬場使用料	661千円	688千円	528千円
霊柩車使用件数	41件	43件	33件
霊柩車使用料	1,177千円	1,230千円	948千円

(4) 墓地の許可関係（届出数）

- ①墓地 経営許可：0件、廃止許可：6件、改葬許可：6件  
 ②納骨堂 経営許可：0件、廃止許可：0件

(5) 霊園分譲関係（神戸霊園）

- 未分譲区画 7区画（令和5年度 分譲実績0件）  
 返還 4区画  
 使用権譲渡 0区画  
 年度末未分譲区画 11区画

(6) 飼犬登録関係

【飼犬登録数と狂犬病予防注射実施状況】

年度当初 畜犬登録数	241頭	年度内注射済頭数（前住地接種含む）※1	209頭
死亡等抹消頭数	27頭	未接種頭数 ※2	32頭
新規登録数	9頭	新規登録手数料（@3,000×9頭）	27,000円
転入登録数	2頭	注射済証交付手数料（@550×209頭）	114,950円
年度末 畜犬登録数	225頭	鑑札再交付手数料（@1,600×0頭）	0円
		計	141,950円

- ※1 注射済頭数内訳 集合春：145頭、集合秋：11頭、訪問：7頭、  
 来院：44頭、転入：2頭（年度内前住所地接種済） 計209頭  
 ※2 未接種頭数内訳 老病等：19頭、不詳：13頭 計 32頭

(7) 再生可能エネルギー関係

「南木曾町環境基本条例」及び「南木曾町の自然環境等と再生可能エネルギー設備設置事業との調和に関する条例」の制定により、一定規模（事業区域面積500㎡）以上の再生可能エネルギー施設の設置を計画する事業者は、地元への説明会実施後、町への協議が必要。

- ・令和5年度実績 法人：0件、個人：0件

(8) 地球温暖化対策関係

地球温暖化の防止には、私たち一人ひとりが職場、家庭を問わず省エネルギー化等に取り組むことが求められている。町民や事業者に対する行政の率先行動として、行政における温室効果ガスの削減を目指すため、「地球温暖化の推進に関する法律」に基づき、令和5年度に「南木曾町地球温暖化対策実行計画（事務事業編）」を改訂した。

温室効果ガス削減目標の達成に向けて取り組んでいきたい。

(9) リニア関係

リニア中央新幹線事業による環境への影響を明らかにするための周辺環境の現況調査を実施した。

①長野県大気環境測定車による大気観測の実施

測定期間	実施地区	測定場所
R 5. 5. 24～R 5. 6. 26 (32日間)	広瀬地区	バス停「下平」付近（口広瀬）

②水質、水量等の独自調査の実施（町独自調査として水文調査を実施した）

事業名	調査期間	実施個所	実施回数	事業費	委託先
南木曾町 水文調査業務	R 5. 4. 3～ R 6. 3. 22	河川 5カ所 井戸 1カ所	12回	871,200円	一般財団法人 中部公衆医学研究所

#### 4. 上下水道関係事業

##### (1) 簡易給水施設関係

##### ①簡易給水施設整備助成（事業費の90%） (単位：円)

	水道組合名	補助内容	補助金額
1	前の畑水道	バルブ取付工事	178,000
2	胡桃田水道	ろ過機 架台 一式取付工事	534,000
3	小川野平水道	薬注ポンプカウンタ用バッテリー取替工事	58,000
4	坂本平水道	配水池次亜注入ユニット更新工事	980,000
5	与川一区水道	小型空気弁取替工事	94,000
6	上の原下5戸水道	次亜注入設備更新工事	396,000
7	与川一区水道	取水地配管改造工事	223,000
合		計	2,463,000

##### ②簡易給水施設水質検査

町内17ヶ所の内15ヶ所の地区水道施設の水質検査を年2回実施し、結果により指導を行った。

※1回分（113,850円）については町が負担を行っている。

検査機関 （財）中部公衆医学研究所

##### \*小規模水道 人口・戸数一覧表 (令和6年3月31日現在)

(小規模水道：簡易給水施設、飲料水供給施設の総称)

No.	水道名	種別	地区	住民リスト		水源	
				戸数	人口	名称等	種別
1	与川一区水道	飲料水供給施設	与川一区	21	53	干沢（ひざわ）	表流水
2	南野水道	簡易給水施設	与川三区	5	21	殿沢	表流水
3	小川野平水道	簡易給水施設	与川三区	9	23	カツラ洞	表流水
4	胡桃田水道	飲料水供給施設	上の原・与川区	15	49	沼洞	表流水
5	坂本平水道	簡易給水施設	与川五区	6	17	久保洞	湧水
6	学校平水道	簡易給水施設	与川五区	4	8	大沢の支流	湧水
7	川合平水道	簡易給水施設	与川四区	10	26	ナシノキ沢	表流水
8	十二兼水道（上）	飲料水供給施設	十二兼	21	60	田ノ沢	湧水
9	十二兼水道（下）	飲料水供給施設	十二兼			熊ノ沢	表流水
10	前の畑水道	簡易給水施設	岩倉	6	24	新山沢	湧水
11	金知屋水道	簡易給水施設	金知屋	4	9	日陰洞	表流水
12	上の原下の平水道	簡易給水施設	上の原	9	23	倉洞	湧水
13	上の原下5戸水道	簡易給水施設	上の原	5	18	白島沢	湧水
14	大妻籠上の平水道	簡易給水施設	大妻籠	5	13	井戸沢	表流水
15	大高取水道	簡易給水施設	上在郷	5	12	大明神沢	表流水
16	三軒家水道	簡易給水施設	上在郷	3	5	水上沢	表流水
17	夏焼水道	簡易給水施設	幸助	4	7	夏焼（大土地）沢の支流	表流水
合計		18		132	368		

※個人水道（簡易給水区域内を除く） 27戸・51名

③小規模水道現況・人口調査

小規模水道の実態を把握するため、本年も各小規模水道組合を対象とした現況・人口調査を行い水源や施設の状況、運営状況の詳細を調査した（16組合中16組合より回答）。

(2) 下水処理関係

合併処理浄化槽設置補助事業については、令和5年度においては2基設置した。

内訳： 十二兼地区 1基、岩倉地区 1基

①合併処理浄化槽設置整備補助実績内訳

(単位：千円)

補助金額	左記の財源内訳			備 考
	国庫支出金	県支出金	一般財源	
962	320	320	322	設置補助金

②人槽別設置補助金額

(単位：円)

人 槽 の 区 分	補 助 金 額
5人槽	332,000
6～7人槽	414,000
8～10人槽	548,000
11～20人槽	939,000
21人槽以上	1,472,000